

---

# 植木憑依の法則

チルノ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

植木憑依の法則

### 【Nコード】

N3611Y

### 【作者名】

チルノ

### 【あらすじ】

神様を助けて死んでしまった主人公、そのおかげで転生することになった、植木耕介として物語を進める主人公。さてさてどうなるかな？

## プロローグ（前書き）

チルノです。楽しんで行ってくれると嬉しいです！

## プロローグ

・・・俺は、普通の高校生だった。普通に暮らし普通に幸せで普通にケンカもし恋愛もした。

こんな日常が続くんだと思っていた。でも

「っ！あぶねえ！！！！」バツ

その日俺は一人の命を救った、その代わりに俺の命は終わりを告げた。

「・・・で、そんなこんなで俺は死んだはずなんだけど・・・ここどこよ？」

目を覚ましたそこには何もなかった、色も無く、音も無い。自分の姿や声は聞こえるがその他は何も感知できない。無論、俺の元いた世界にこんな場所はないしあったとしても、着た覚えはない。そして俺はしばらく歩く。

「どこだよ、ここ・・・ん？あそこに何かあるな・・・なんだ？」

「・・・！？人がいる！おーーい！！」

「？、あつ！いたいた！見つけた！」

「は？なに？」

「まずは、自己紹介するね、私は神様だよ！君が助けしてくれたんだ」

「あ、オマエあの時の女の子か！で？その神様がどうしたんだ？」

「私のせいで死んじゃったから、貴方に二度目の人生を与えようと思ってる！」

「二度目があるのか？ってことは生き返るのか？」

「いや、無理だね。貴方は元いた世界には帰れない。だから漫画やアニメの世界に転生してもらおうよ！」

「え？マジで？それは結構嬉しいな、生前は隠れたオタクだったし」

「へへ、まあおいといて。貴方が転生する世界は貴方の家にあつた『植木の法則』の世界。」

「まじで！？あのさあのさ！もしかして原作介入とかって出来る？」

「あ、出来るようにしといたから大ジョブだよ。貴方はとりあえず植木耕介として転生するの。時系列的には能力を貰って中学生になったあたりかな？」

「ん〜・うん、分かった。」

「あと、本来ならいろいろ能力とかの特典を付けてあげたいんだけど。私には無理なの。だから貴方は生前の知識と、多少だけど身体能力を上げとくからそれで戦ってるね！」

「十分だ」

「じゃあ、転生させるね！逝ってらっしゃい！」

「ん？字違くない？…っ！？」バクッ

俺は、その瞬間何かに飲み込まれ意識を手放した。  
次に目覚めた時俺は

「ここは…俺の通う中学校の入学式か。ふむ」キョロキョロ

俺は周りを見渡す、教師陣には言わずと知れた小林、よく見えないが遠くの方に森あいも見える。

本当にうえきの法則の世界に来たんだな…

「さてさて…面白いことになったね…」

## プロローグ（後書き）

つぎは能力の確認をします

能力確認(前書き)

ではどういふことか...

## 能力確認

植木耕介

転生者兼主人公

能力

ゴミを木に変える力

限定条件：手で覆えるゴミであること

身体能力上昇、具体的には原作植木の3倍くらいを目指す。

補足

原作通りに神器を覚醒させてはいない、本人いわくレベル2になったら覚醒させるようだ。具体的に言えば、テンコが来るまでにレベル2シフトしたいと思っている。

森あい

原作通り、植木のおせっかいをする係。

後に相手をメガネ好きに変える力を手に入れる予定

限定条件は相手にぶりっこポーズをさせる事

今後に出てくるキャラ

佐野清一郎

能力

手ぬぐいを鉄に変える力

限定条件は息を止めている事

原作通りに登場 会話 再開 バトル 仲間入りみたいな感じでやりたいと思っています。

テンコ

原作通りに登場

コバセン

植木に担当神候補、植木の正義の目標でもある。



**能力確認（後書き）**

こんなところです。次からは、本編です。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3611y/>

---

植木憑依の法則

2011年11月9日03時09分発行